

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 中村 清志

- I 開催年月日 令和 5 年 7 月 21 日（金）
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 33 分
- III 出席委員等〔出席委員〕◎中村 清志 ○田中 勝文 新開 広恵
出町 譲 埜田 悦子 林 貴文
本田 利麻 福井 直樹 金森 一郎
（◎…委員長 ○…副委員長）
- 〔議長〕 中川 加津代
- 〔副議長〕 酒井 善広 副議長は公務のため欠席
- 〔説明員〕 別紙名簿のとおり
（西條 都市創造部次長・産業振興部参事が公務のため、
橘 福岡駅前土地区画整理推進室長が病気療養のため
欠席）
- 〔委員外議員〕 なし
- 〔事務局職員〕 笹島 永吉 高嶋 史恵 吉本 昌史
- 〔傍聴者〕 1 名

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、報告はなかった。 〉

2 その他について

○ 行政視察について

令和 5 年 7 月 24 日（月）から 26 日（水）に実施することが報告された。

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

（以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示）

【大雨による被害状況について】

○ 令和 5 年 7 月 12 日の大雨による被害状況を産業振興部と都市創造部それぞれに伺いたい。

△ 7 月 20 日の午後 5 時現在では、冠水や土砂の流入等によって、約 112 ヘクタールの

水田で被害が発生している。また、農地については、法面の崩落等による被害が 26 か所、農業用のため池の堤体にクラックが入る被害が 3 か所発生している。林道についても、法面の崩落等の被害が 18 か所となっている。市内の事業所等については、概ね稼動を再開していると聞いている。

△ 7月20日の午後5時現在では、市道3路線が通行止めとなっている。土砂の流入や法面の崩落が原因である。

○ 市民から、本市の対応について評価する声を聞いている。土のうの準備や災害ごみの対応などについて感謝したい。久しぶりに災害救助法の適用を受けたという話や、普通交付税が前倒しで交付されるという話を聞いているが、国や県との連携を密にしながら速やかな復旧に向けた対応を要望する。今後、補正予算が提案されるのであれば、議会としても対応していきたい。(要望)

○ 農産物の被害総額は。また、収穫時期に向けての影響は。

△ 収穫時期になってみないとわからない。共済に加入していれば共済金が支給されるので、その支給状況等を踏まえて見極めていきたいと考えている。

○ 現時点では不明とのことだが、地域の方々からは、相当な影響があるのではという話が出ている。しっかり対応してほしい。(要望)

○ 小矢部川水系や千保川水系では、特に市街地において水害被害が多かったと思う。これらの被害について、側溝や用排水路、下水道に起因するものはあるのか。被害状況をまとめている最中だとは思いますが、原因を把握しているのであれば伺いたい。

△ 小矢部川の最高水位は、7月13日に8.81メートルを記録しており、この数値は過去最大であった。県内で初めて線状降水帯が発生したということもあり、短期集中的に雨が降ったことが一番の要因である。さらに、小矢部川の水位が上がったことで水が逆流し、支流の中小河川の周囲で冠水したために被害が広がったと考える。国においては、時系列で水位の状況等について整理されていると聞いている。本市としても現在、復旧作業の最中であることから、被害の原因や対応状況について、時間をかけて検証していくことになると思う。

○ 上流域での降水による影響で、下流域である本市で溢水した可能性もある。しっかりと調査して報告していただきたい。(要望)

○ 生産組合等がある地区においては、側溝等の清掃が行き届いていると思われる。しかし、市街地の、特に側溝のふたを開けられない場所については、明らかに泥が溜まっており、草が生えている状況も見受けられる。これらが綺麗に流れなければ排水も当然うまくいかないこととなり、その結果として増水することも十分に考えられる。市民の協力をいただくような手を打たなければいけないと思うが、本市としての考えは。何かしらのアクションを起こしていただきたい。

△ かつては現場でコンクリートを打設してふたがけしていたため、側溝のふたは開けやすかった。昨今は二次製品を使用しており、ふたはほとんどが取れない状況になっている。ふたが開けられる場所については、年度初めの4月に、各自治会へ側溝の清掃の依頼をしているところであり、対応できる範囲で泥を除去していただいている。側溝が深くなっている部分など、泥の溜まり具合によっては土木維持課で洗浄等を行っている。様子を見ながらにはなるが、まずは市民の協力をいただきながら、可能な

範囲で泥を除去いただければと思っている。

- 側溝の清掃については、国道・県道にも関わってくる話である。泥が堆積したり、道路脇の草木の除草や刈り込みがあまり実施されていなかったりする状況をよく目にするため、道路パトロールの際に注意して見ていただくよう、パトロール員へ助言いただきたい。(要望)
- △ 管理している市道は約 1,500 キロメートルある。幹線道路もあれば、山間部にある道路もある。側溝の泥やその周辺の草木は、流下能力の確保という観点からすれば、阻害要因となりうる。気が付いた範囲で対応していくが、自宅前の雑草を抜いていただくなど協力いただければと思っている。先ほど市道 3 路線が通行止めとの報告をしたが、これら以外にも、溢水等によって路面上に土砂が堆積している場所が多々存在する。一度にすべての場所を回することはできず、手つかずとなっている場所もある。市民には大変迷惑をおかけしているが、順次対応しているところであり、今しばらく待っていただきたい。

【高岡おとぎの森公園の遊具のリニューアルについて】

- リニューアルに向けて、令和 5 年 6 月 30 日から 7 月 23 日までを期間として、対象者を 12 歳以下とするアンケートを実施しているが、回答状況は。
- △ アンケートは、3 案を示した上で人気投票を行う形としている。7 月 23 日が回答期限であるが、中間集計は実施していないため、23 日以降早々に集計をしてその結果を踏まえながら検討していきたいと考えている。
- アンケート結果について、どのように周知するのかを後日改めて教えていただきたい。(要望)

【電気料金高騰対策補助金について】

- 本市では、令和 5 年 6 月に、特別高圧契約に対する支援のための補正予算を計上しているが、その対象については中小企業者に限定していない。一方、県では中小企業者に限定して支援をしているが、本市の補助制度の考え方は。また、市内における対象企業数と、7 月 3 日に申請受付が開始されてから現在までの申請状況は。
- △ 昨今の経済情勢等に伴う原油価格の高騰によって、電気料金についても値上がりしている。国においては、電気料金の激変緩和策として、本年 2 月分から低圧・高圧電気料金の支援を行っている。一方で、特別高圧電気料金に対する支援はこれまで実施されておらず、市内企業においても影響を受けていることから、新たに制度を創設して支援するに至った。県では対象を中小企業者に限定しているが、このたびの電気料金の高騰はすべての企業に影響を及ぼすこと、また、企業における雇用や従業員の生活を守ることにも繋がることから、本市では対象を中小企業者に限定していない。市内で特別高圧電力を受電している事業所数は、ヒアリングしたところ 17 事業所を見込んでいる。なお、市内に複数の事業所を持つ企業もあるため、企業数としては 15 社の見込みである。現在の申請状況としては申請済みが 3 件、相談中が 5 件の計 8 件となっている。引き続き制度を周知して申請を促していきたいと考えている。
- 県が中小企業者の支援をしていることから、本市は実質的には大企業の支援をする

ことになるのか。県の補助制度との棲み分けは。

△ 今回の支援内容については、1事業所あたり9か月分の使用電気量のうち8か月分まで、1kwhにつき3.5円の支援を行う。また、残り1か月分として、1kwhにつき1.8円の支援を行う。この内容は本市と県で同様だが、本市では上限金額を500万円と設定し、県では上限金額を2,000万円と高く設定している。なお、本市では対象を中小企業者に限定していないことから、県の制度から漏れた企業についても対象としている。

○ 県とは金額に差異はあるが、取りこぼさないための取り組みということで、本市の対応について感謝したい。申請状況は8件とのことだが、残り9か所の事業所に対しても細かな説明をしていただくことで、制度を活用してもらいたい。(要望)

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- (1) とやま呉西圏域 起業・創業支援事業「先輩創業者に学ぼう！起業・創業セミナー」の開催について
- (2) クラフトヴァレーフェア出展事業者募集について
- (3) 富山 WEST ビジネス交流交歓会 2023 in 名古屋の開催について
- (4) イベントの開催について（高岡七夕まつり、リバーサイドフェスタ 2023）

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【クラフトヴァレーフェアについて】

○ 令和4年度の実績は。また、5年度の予算がどれほどなのかを確認したい。

△ 4年度は、10月1日、2日、7日から9日の5日間で開催した。5市から34事業者の商品を出展しており、本市からは16事業者の商品を出展した。なお、本市については主に地元の工芸品を展示するという形で出展しており、商品数は26点であった。このうち、タンブラーについては、サイズがアメリカ人に合わず、より大きなものはないのかというリクエストがあった。靴べらやネクタイピンについては、現地の文化や生活習慣の違いもあり興味を示されなかった。燭台や香炉については、仏具としてアピールすると敬遠されたが、ろうそく立てだとアピールすると好評をいただいた。展示という形ではあったが、売って欲しいという声があった。5年度の予算としてはクラフトヴァレー事業全体で1,490万円を計上しており、このうち、フェアの事業費は現地での経費や職員派遣の経費も含め640万円である。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（２８名）

産業振興部長	式 庄 寿 人	都市創造部長	赤 阪 忠 良
産業振興部次長	堺 啓 央	都市創造部次長	梶 本 敏 規
産業振興部次長	長 久 洋 樹	都市創造部次長	西 條 正 輝
産業振興部参事（兼務）	西 條 正 輝	都市創造部次長 都市計画課長	山 森 久 史
産業企画課長	今 方 順 哉	景観みどり課長	江 尻 典 世
商業雇用課長	中 川 正 人	道路整備課長	中 出 裕 嗣
観光交流課長	森 川 朋 子	土木維持課長	割 田 一 郎
農業水産課長	永 井 正 之	建築政策課長	氷 見 和 人
農地林務課長	横 山 太 一	営繕課長	井 林 哲 雄
みなと振興課長	車 忠 宏	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂 徳
地域振興交流課長	有 栖 友 広		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
農業委員会事務局長（併任）	堺 啓 央	上下水道局次長	五 十 里 康 夫
		上下水道局参事	川 渕 利 直
		総務課長	亀 岡 勝 彦
		営業課長	熊 本 敬 二
		水道工務課長	片 岡 利 行
		下水道工務課長	寺 井 義 則
		施設維持課長	高 林 隆